

2022.3.22 発行

「4月からは夢を語り合えるように」

学年主任

学年閉鎖中（2/6）にこの原稿を書いています。現在の思いを忘れないために、あえて今書いています。さすがに今回の学年閉鎖はショックでした。君たちが精一杯努力してくれたにもかかわらず学校をとめてしまった。悔しいし申し訳ない限りです。何年、何十年か経った時、「高校生活のほとんどをコロナ禍で過ごしたが、だからこそこんな出会いや経験をし、そのおかげで今がある。」と自分も生徒も胸をはって言えるようにしたい。そう思って2年間過ごしてきました。君たちと過ごした時間は、私にとって一生心に残る大切な物となりました。

しかし、思い出を増やすだけでなく、卒業までにあらん限りの力を振り絞って出せる結果を出し切る、その練習をしながら、さらにその先に待ち構える社会に自分はどうか対峙していくのかに思いを馳せる、そこまでいって初めて目標を達成したことになるのではないかと思う。そのことを再認識するために今回の学年閉鎖があったのではないかと今は考えています。（このまま流されていったらダメだぞと）

先日、YouTube でいわゆる「成功者」と呼ばれる人たちが、武道館で講演しているイベントを見た。とても面白かったし、不肖、私のような人間がこれは若い人に伝えたいと思っているとすると重なる部分もありました。こういう話はタイミングが大事だし、押しつけになってはならないと常日頃思っています。また自分自身が叶えたい夢がないと説得力もなくなります。まずは、私自身が今抱えている夢を大切に育ててみます。そして折を見てお話ししますので、君たちの思いも話してほしい。ここまで協力してやってきました。夢の共有も可能でしょう。ではまた。

「第2学年を終えるにあたって」

副主任

まさか2年以上もマスクを毎日つけた生活を送るなんて…。ウイルスは株を変えながら第6波が今の私たちの生活を苦しめています。今後も第7波・8波と続くことも考えられます。このような状況だからこそ、私たち1人ひとりの思いやりある行動が被害を最小限に抑え私たちを前に進めてくれると考えます。皆さんの変わらない協力をお願いします。

さて、以前私が学年集会で「2年生は修学旅行がきっちりできれば学年としてまるだ」といいました。その意味は、人に迷惑をかけず時間を守り役割を果たす。寝食を共にする生活の中で人間関係を含め協同と協働する力が備われば17歳の年代としてこれから歩む道の基礎が身につくと考えたからです。実際に皆さんは立派でした。様々な問題を協力して解決しその後の生活につなげてくれました。君たちは素晴らしい高校2年生になりましたね。

これからはそれぞれの進路に向けて、この2年間で培ったその力を自分とみんなのために使ってください。「個の力」と「集団の力」。この両方が備わらないと壁は崩せません。75回生の皆さんなら必ずできると信じます。そのためには、「自分がしたいから・なりたいたいから・叶えたいから」と、心の底からふつふつと沸いてくるような強い動機を持ってください。高校生活も残り1年となりました。「受験にフライングは無い!」といわれるように、時間に余裕のある3月を有効活用しませんか？君たちと一緒に私も残り一年頑張ろうと思います。

*気がかりなことが一つあります。それは君たちが入学以来、全員無遅刻・無欠席であった

日がたったの1日だけであること。遅刻をしない生活習慣と欠席をしない体調管理は、学習以前の大切なこと。4月からは基盤(遅れない・休まない心と体)を大事にしましょうね。

「3年0学期」

7組担任

2年生の3学期・春休みといえ、もう受験まで1年ということで3年生の0学期にも例えられたりもします。もういよいよ最高学年、受験生になろうとしています。その自覚をこの3ヶ月でしっかり持って、地に足をつけて勉強に取り組んでほしいと思っています。具体的には

「1年後の進路実現した自分を想像できますか？」

と自分に問いかけてみてください。これまでのテストや勉強の取り組み具合、そしてこれから取り掛かろうとしている意気込みや勉強量などを勘案して、志望校に合格できるイメージができるでしょうか？もし、できない自分しか想像できないのであれば、それはチャンスです！

「いつやるの？今でしょ！」です！(笑)

あ、やばい！と気づけたならば、今からでも遅くありません、簡単な英単語を覚えていく、からでもいいのでアクションを起こし、継続していったほしいのです。

私はラグビーという競技をもう何十年も携わってきましたが、ゲーム中必ず苦しい場面がでてきます。それを自分でどう乗り越え、仲間と協力して壁を乗り越えられるか、そして試合が終われば敵味方関係なくお互いを称えあう(ノーサイドの精神)、これは受験やこれからの人生にも通じる部分があるんじゃないかと個人的に思っています。新しい担任の先生や進路の先生とがっちりスクラムを組み、目の前の勉強や課題という敵を真っ向からタックルをして、自分の希望進路をノックオンしないように、この1年全力で戦っていきましょう。

「デジタルテクノロジーの危うさ」

5組担任

デジタルテクノロジーは自由に国境を超え、統制するのが難しいと考えた。マイクロソフト創業者のビル・ゲイツは、インターネットを統制できると主張する人に、「クギでゼリーを壁に固定させるのと同じだ」と笑い飛ばした。しかし、実際には、「ゼリーを壁に固定できた。」独裁体制下ではデジタルテクノロジーで生活を支配し、中央集権的方法で人々を監視できている。

そして、デジタルテクノロジーには民主主義的ではない面があると指摘されている。新しいテクノロジーによるフェイスブックやツイッターなどのSNSから流される過激な発言は、民主主義を気にとめない。私たちは無限の情報に接した結果、物事を単純化することしかできず、物事は二極化し、それぞれの側から攻撃的に議論している。

IT(Information Technology: 情報技術)の世界でプラットフォームの一つである動画サイトでは、曖昧な興味で陰謀説的な動画を見ると、複数の似た映像が自動的に「オススメ」され、次回はさらに多くの映像が現れる。その内容は過激化し、極端なテーマで頭がいっぱいになる。

アルゴリズムによる「オススメ機能」で一定の方向に流されてゆく。民主主義は、意見の不一致を暴力ではなく妥協を通して平和的に処理するシステムだ。過激化し、極端なテーマで頭がいっぱいになると妥協できなくなり、平和的な解決は困難になる。

メディアリテラシー(media literacy)を高めよう

この問題を解決するには、メディアリテラシー(情報を読み解く能力)を高めること。ネット空間での情報の80%は英語なので英語力も必要だ。インパクト(影響や印象)のある文章や簡潔な語り口に惑わされず、「その情報は何を根拠にしているのか」「見方が偏っていないか」といったことを、複数の立場の情報から取得すること。そして、それを批判的に分析評価し、異文化を超えて対話し行動する能力を身に付けることである。

行事予定 4月8日(金)始業式 11日(月)課題考査 英語・数学(理系・文Ⅱ)

12日(火)課題考査 国語・物理/生物(理系)・化学(理系)・授業